ていますので、視野に入れて整備したいと思っています。
　今後はこれまで以上に子育てや学校教育に力を入れていきます。今後の人口減少を考えると、社会基盤に投資をするよりも人に投資すべきというのが私の考えです。全体のバランスを見ながら予算を配分していきたいですね。

●高校生の目で見て

市長　安田さんは船引高校の2年生だと伺いました。私も卒業生の一人です。後輩たちがさまざまな分野で活躍する姿を見て、頼もしく誇らしく感じています。高校生の目で見て、耳で聞いて、思ったことや感じたことがあれば率直にお話しください。

安田　学校の「船高アクティブリーダープロジェクト」で、都路地区を訪問しました。震災後の都路がどうなっているのかを自分たちの目で見て、地元の人から話を聞き、交流した山形県の高校生に福島や都路の現状を伝えたのですが、活動を通して、震災後、福島で起きた風評被害をしっかり理解していない人がいるなと感じました。地元の農家の皆さんは風評被害をなくすために頑張っていますが、後継者が少なく、高齢化が進んでいます。周りの農家の後継者も、高校卒業後、都市部へ行った人は田村市へ帰ってこない人が多いです。

市長　蒲生さんのように、農業でしっかり生計を立てて、活躍している方もたくさんいらっしゃるのですが、「大変そう」という先入観があるのでしょうね。風評被害は、簡単には解決できない問題ですが、正確なデータと科学的根拠のある情報を粘り強く発信し続けていきます。
　船引高校では、卒業後、地元に残る人はどのくらいいるのでしょうか。

安田　進学希望の人もいますが、ほとんどが地元に残ると思います。

市長　先ほど安田さんがおっしゃったように、首都圏の大学へ進学された方は、卒業後もそこで働く人が多いですね。若い皆さんが戻ってきたいと思えるような魅力的なまちにしていかなくてはなりません。市にこんなことをしてほしいという希望はありますか。

安田　震災を経験していない子どもたちが増えてきました。震災の記憶を伝えていかないと風化してしまうのではないかと心配しています。震災が起こったとき、私は小学校4年生でした。震災を経験しても理解できないことがたくさんあります。経験していない子たちはもっと理解できないのではないでしょうか。原発事故のこと、風評被害のこと、私たちより下の世代へ伝えていかなければならないと思っています。

市長　危機管理を含め、震災の記憶を風化させないことも大事ですね。今後のまちづくりに生かしていきたいと思います。

久保　先ほど風評のお話がありましたが、生きるためには空気と水、そして、食べ物が必要です。私たち人間を含め、生き物は他の命をいただいて生きています。最近は「生きることは何か」「生きるためには何が大切なのか」という疑問を持つことが忘れられてきているように感じます。小学生、中学生のうちから、「生きていくということ、どういうことなのか」ととは、どういうことなのかをみんなが学んでいけるようなまちになれば、自然に「この食べ物をつくった人がいるのだ。私たちは命をいただいて生きているのだ」と感じる子どもたちが増えるのではないでしょうか。今日の皆さんの話を聞いて思いました。

市長　私も相手を思いやることや周りのことを考えることが、最近、少なくなっているように感じています。子どもたちにはそれを感じてもらい、成長していってもらいたいですね。教育面では、そう遠くない時期に「田村市は学力が高い。子どもたちが一生懸命だね」と思われるまちにしたいと考えています。市内の中学校に配属されている外国語指導助手にも協力してもらい、外国人や外国語をもっと身近に感じられるようにしていきたいですね。

石井　田村市には、頑張っている人を応援する体制ができつつあります。若い皆さんには「市内には何もない」と嘆くのではなく、自分で考えて、行動に移してほしいですね。そして、それが実を結ぶことを信じて、今後の生活を送ってほしいと思います。

蒲生　私の娘は高校3年です。人生を豊かなものにするためには、楽しい経験だけでなく、悲しい経験や辛い経験も必要です。より多くの経験を積んで、社会に出てほしいですね。昨年、滝根中学校の1日体験授業で、私の農場へ中学生がやって来ました。一緒に野菜を収穫したり、販売したりしました。さまざまな産業を経験することも、大切だと思います。

市長　安田さんは卒業後の進路は決まっていますか？

安田　卒業したら就職する予定です。

市長　雇用の場も少しずつ増えてきたと思います。これからも新しい産業、働く場をたくさん創っていきます。田村市ならではの農業や林業、商業を盛んにし、女性が子育てしやすい環境を整え、若い皆さんに「田村市で働きたい」「田村市に戻りたい」と思ってもらえるようなまちにしていきたいですね。

将来に向けた取り組み Working towards our future

働く場の確保と産業の創出
- トップセールスによる企業誘致の推進
- 新たな産業の創出
- 森林の保全と関連産業の拡大
- 各産業団体、生産者との活発な意見交換

健康の増進と福祉の充実
- 二次救急医療体制の充実
- 女性外来体制の推進
- 予防医療、受動喫煙対策の実施
- 各種スポーツ大会の充実
- 高齢者・障害者の在宅介護の支援拡大
- 介護人材の育成

子育て支援と教育支援
- 子育てに要する保護者負担の軽減
- 奨学金制度の充実
- 子育て支援充実体制の強化
- 学力向上を図るための教育の充実・強化
- 保育人材の育成

道路や水道の整備と防災対策
- 道路の利便性の向上と新しい交通の創出
- 上下水道事業の計画的推進
- 防災体制の強化
- 広域的避難協定の締結
- 河川改修整備の促進

生活環境の充実
- 市街地周辺の環境整備
- 学校、体育館の耐震化
- 遊休施設を利活用した子ども遊び場の整備

誇れるまちづくり
- 観光資源の見直しと新たな発掘
- 観光情報発信の強化、拡大
- 遊休農地の解消と里山の再生
- Uターン、Iターン、二地域居住の推進

市民の手による地域創生
- 地域特産品の開発
- 観光資源と観光ルートの開発
- 空き店舗の利活用支援
- 農業の６次産業化推進
- グリーン・ツーリズムの推進による交流人口の拡大
- 婚活支援の充実

役所改革
- 徹底した情報公開による公平公正の確保
- 市民の声を受け付ける体制を強化
- 職員の資質向上